

平成 24 年 12 月 18 日

各 位

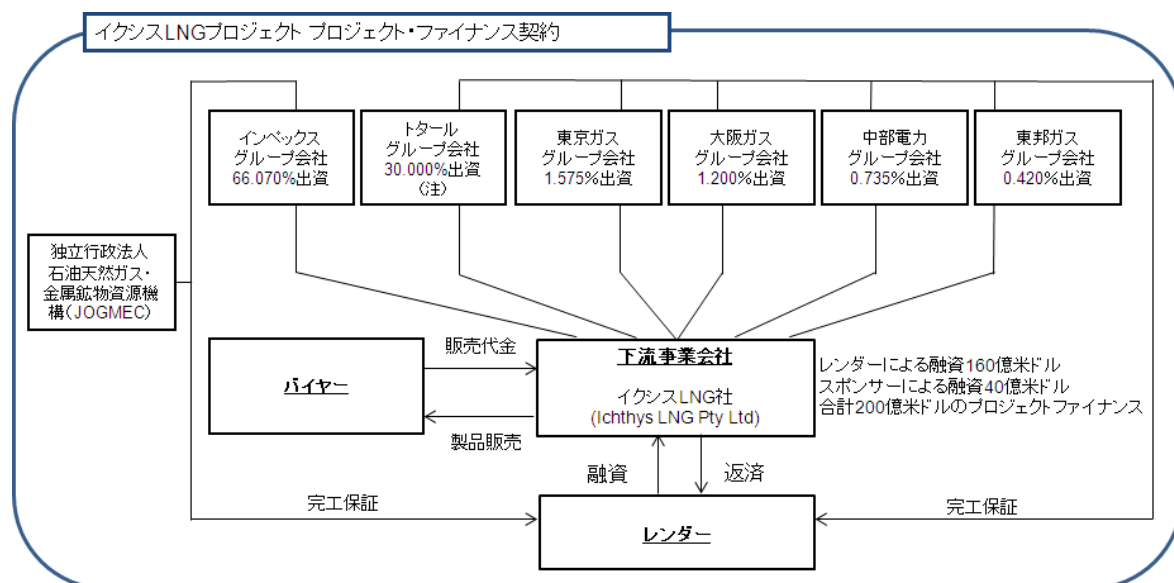
会社名 国際石油開発帝石株式会社
代表者名 代表取締役社長 北村 俊昭
(コード番号 1605 東証第一部)
問合せ先 広報・IR エグゼクティブマネージャー 橋高 公久
電話番号 03-5572-0233

オーストラリア イクシスLNGプロジェクト プロジェクト・ファイナンス契約調印のお知らせ

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、豪州で操業主体（オペレーター）としてプロジェクトパートナーとともに進めるイクシスLNGプロジェクトに関し、本日、国内外の輸出信用機関（Export Credit Agency、以下ECA）8行および市中銀行24行（これらECAおよび市中銀行を総称して、以下レンダー）等との間で、総額200億米ドルを限度とするプロジェクト・ファイナンス^(*)に係る融資関連契約に調印しました。

このプロジェクト・ファイナンスは、国際金融市場において過去に組成されたプロジェクト・ファイナンスの中でも最大規模となります。

^(*)プロジェクト・ファイナンス：プロジェクトの将来キャッシュフローを返済原資とする資金調達手段の一つ。イクシスLNGプロジェクトの場合、借入契約上の借入人は下流事業会社であるイクシスLNG社。



(注) 当社からトータル社への6%追加権益譲渡については契約上の先行条件の充足が条件となっている

このプロジェクト・ファイナンスは、レンダーおよびスポンサー（プロジェクト実施主体）からの融資により構成され、レンダーからの融資の一部は保証・保険が付保されています（内訳は下記）。このうち、株式会社国際協力銀行（JBIC）より50億米ドルを限度にご融資頂き、独立行政法人日本貿易保険(NEXI)には27.5億米ドルの海外事業資金貸付保険をお引き受け頂きます。

プロジェクト・ファイナンスの内訳：

ECA直接融資(JBIC、韓国輸出入銀行、豪州輸出金融保険公団(EFIC))	58億米ドル
国内外の市中銀行 ECA保証・保険付融資	(※) 54億米ドル
ECA保証・保険無し融資	48億米ドル
レンダーによる融資合計	160億米ドル
スポンサーによる融資	40億米ドル
プロジェクト・ファイナンス合計	200億米ドル

(※) 54億米ドル分の融資については、NEXI、韓国輸出入銀行(KEXIM)、韓国貿易保険公社(K-sure)、アトラディウス(Atradius;蘭)、ユーラーヘルメス信用保険会社(Euler Hermes;独)、コファス貿易保険会社(Coface;仏)による保険・保証が付保されている

また、当社は他のプロジェクトパートナーとともに権益比率に応じてプロジェクトの完工までの債務保証をレンダーに差し入れております。このうち、当社保証負担の一部として、独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）より20億米ドルを上限に当社と連帯して保証して頂きます。

イクシスLNGプロジェクトは、日本企業が操業主体（オペレーター）として主導する初の大型LNG（液化天然ガス）プロジェクトです。今回のプロジェクト・ファイナンスに係る契約調印により資金調達が確実となり、イクシスLNGプロジェクトの実現に向けた大きなマイルストーンが達成されたこととなります。この結果、日本へのエネルギーの長期的な安定供給やエネルギー調達におけるリスク分散において、当社として一層の貢献ができるものと考えています。

今後も当社は、イクシスLNGプロジェクトに関係する地域コミュニティの方々、連邦政府、西豪州政府および北部準州政府等のオーストラリア政府関係者やプロジェクト関係者の方々のご理解とご協力を得ながら、このプロジェクトの成功に向けて引き続きまい進して参る所存です。

以上

「補足・参考資料」

イクシスLNGプロジェクトの概要

1. 生産開始（予定）：

2016年12月末まで

2. 埋蔵量&生産量（予定）：

埋蔵量は、年間840万トン超のLNGを約20年の長期にわたり生産できる規模。

生産量は、LNG年間840万トン、LPG年間160万トンおよびコンデンセート日量約10万バレル（ピーク時）。

3. 本プロジェクト参加割合（権益比率）：

当社(オペレーター)： 66.070%

トータル社： 30.000%

(30%の内、当社から譲渡する6%権益については契約上の先行条件の充足が条件となっている)

東京ガス： 1.575%

大阪ガス： 1.200%

中部電力： 0.735%

東邦ガス： 0.420%

4. 総投資額：

340億米ドル（プロジェクト100%）

5. LNGマーケティング：

買主	LNG年間販売量
東京電力	105万トン
東京ガス	105万トン
関西電力	80万トン
大阪ガス	80万トン
九州電力	30万トン
中部電力	49万トン
東邦ガス	28万トン
CPC社(台)	175万トン
TOTAL社(仏)	90万トン
当社	90万トン

販売契約期間：2017年から15年間

6. 政府許認可関係：

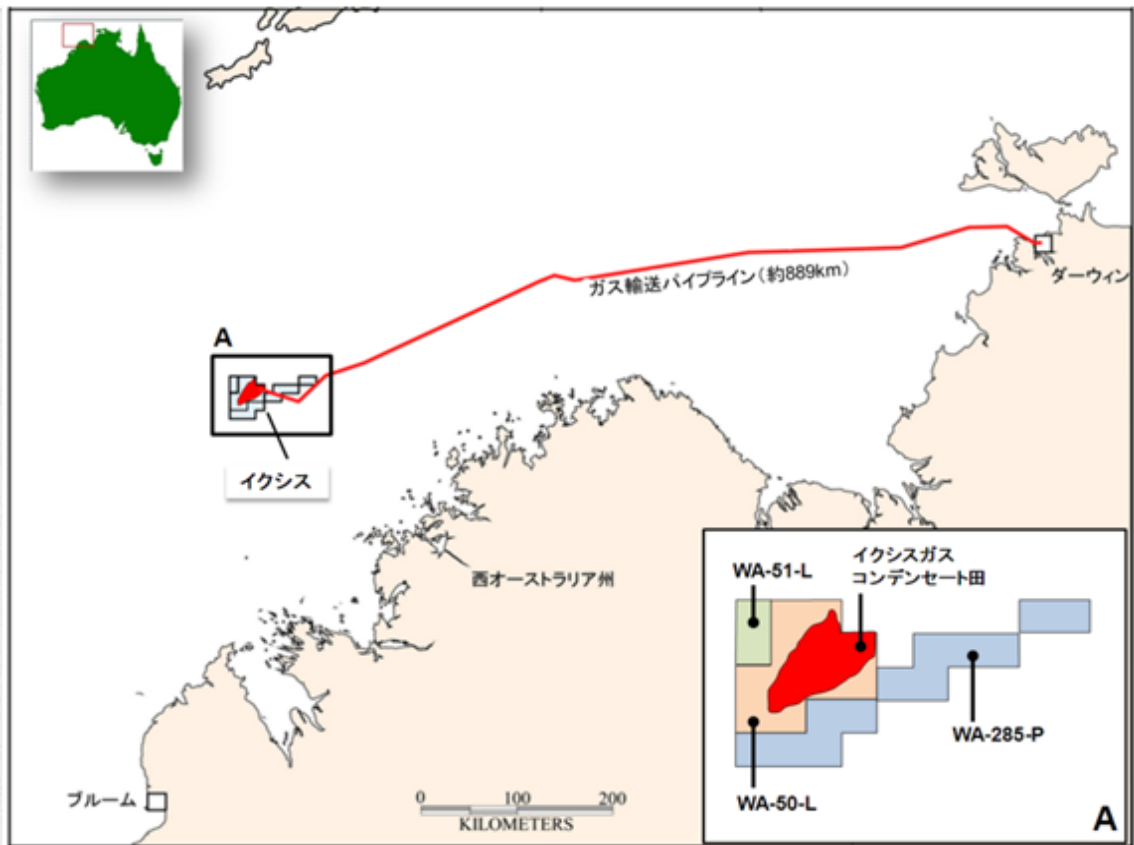
主要許認可（環境承認、ガスエクスポートパイプラインライセンス、生産ライセンス等）を全て取得済み

7. 作業状況：

陸上、沖合の各施設の詳細設計や資材調達が現在の作業の中心。この他、陸上 LNG プラントの敷地造成工事、ダーウィン湾での浚渫作業、ガス輸送パイプラインの製造等、2012 年 10 月末現在で約 9%の作業進捗率となり、順調に進捗しています。

※ 本プロジェクト・ファイナンス組成におけるアドバイザーは以下のとおり：

- ファイナンシャルアドバイザー： みずほコーポレート銀行
クレディアグリコル銀行
- リーガルアドバイザー： アレン・アンド・オーヴェリー
アレンズ リンクレーターズ



イクシス LNG プロジェクトロケーション



ダーウィンにおける陸上ガス液化 (LNG) プラント建設イメージ図